

平成 29 年度 第 4 回霧島市行政改革推進委員会 要旨

開催日時	平成 29 年 11 月 14 日 (火) 10:30～		
開催場所	霧島市役所行政庁舎別館会議室 2・3 (別館 2 階)		
出席者	委員	山尾 和廣 委員、東 彰 委員、宮本 順子 委員、藤崎 和彦 委員、池田 まゆみ 委員、吉満 伸一 委員、酒井 一俊 委員	
	事務局	満留 企画部長、永山 企画政策課長、野崎 企画政策課長補佐兼行革推進グループ長、松永 行革推進グループ主任主事	
公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	0 人
<p>会次第</p> <p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 第 3 次霧島市行政改革大綱案について</p> <p>(2) その他</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>			
<p>議事</p> <p>(1) 第 3 次霧島市行政改革大綱案について</p> <p>【会議資料に基づき、事務局より説明。】</p> <p>(2) その他</p>			
<p>主な委員意見 等</p> <p>○ 協働によるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が自発的にまちづくりに取り組む仕組みを構築することが重要である。 ・UJI ターンの方々の声を吸い上げるなど、外部からの視点を取り入れる仕組みが重要である。 ・霧島市と様々な団体が個別に連携協定を締結しているが、それぞれの主体がお互いの強みを生かし、分野横断的に連携、協力するなど、新たなイノベーションの創出につながる取組が重要である。 ・テーマごとに多様な主体が意見を交わす場があればよい。 ・自治会の役割を理解してもらい、自治会加入率を高めるための取組を推進するとともに、地域づくりの機運の醸成を図る必要がある。 ・地域活動は、全国の事例を参考にすることが重要である。 <p>→行政だけでは対応できない課題について、地区自治公民館をはじめ市民の方々の意見を反映させるほか、多様な主体が連携、協力できる仕組み、体制を検討したい。</p>			

- 中山間地域について
 - ・中山間地域における行政機能の維持や学校に通う子どもたちの公共交通の利便性向上など地域の課題を的確に把握するため、現場の声を吸い上げる取組が重要である。
 - ・市民サービスの水準を維持しつつ、行政が地域に溶け込み、住民との接点を密にする姿勢が大切である。

- その他
 - ・行政改革大綱はどのような位置付けの計画か。

→将来にわたり持続可能な地域社会を実現するとともに、本市の最上位計画である「霧島市総合計画」を推進するために、組織、人材、財源などを中核とする行政経営の指針を示した計画であり、総合計画同様、霧島市の目指す方向性や行政の姿勢を示した重要な計画である。

会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・会次第 ・資料1_第3次霧島市行政改革大綱案 ・資料2_主な変更箇所 ・資料3_スケジュール
------	--